

科 目 名				学 年
図学・製図Ⅱ : Basic Drawing for Engineering II				1C
教 員 名 田窪修司 : TAKUBO Shuji				
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
1	90分×15回	履 修	講 義 / 実 習 ・ 後 期	—
授 業 概 要 図学・製図の応用を学ぶ。公差を始め更に高度な製図法及び機械要素部品を学びそれらの図面を書く。				
到 達 目 標			評 価 方 法	
(1)公差、ハマアイの理解ができる。 (2)各種機械要素部品の理解ができ、ねじの図面が書ける。 (3)各種図面を知る。			①提出図面 70% ②テスト 30%	
学 習 ・ 教 育 目 標		(C)	JABEE基準1(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	公差	講義概要(内容、評価方法)、製作図まとめ 寸法公差、寸法公差記号、寸法許容差の見方、 ハマアイ、公差記号、クリアランス	
	第2	公差	実習: 製作図	
	第3	公差	実習: 製作図	
	第4	公差	実習: 製作図	
	第5	幾何公差	幾何公差の理解	
	第6	幾何公差	実習: 幾何公差を使った作図	
	第7	中間まとめ	中間試験	
	第8	機械要素部品	ネジ、ネジ関連部品と製図法	
	第9	機械要素部品	実習: ネジ製図	
	第10	機械要素部品	実習: ネジ製図	
	第11	機械要素部品	実習: ネジ製図	
	第12	各種図面	軸、キー類、軸継手、プーリー、歯車、バネ 溶接継手、管各種金属管、継手、バルブ	
	第13	製作図	配管図、計装図、配線図、配管図、計装図、工 程図、CAD図	
	第14	製作図	実習: 製作図	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価 アンケートを行う。		
自学自習の内容		製図実習においては教科書、諸元表等の資料を参照しながら完成させていく実践型の習慣を身に付ける。		
関連科目		図学・製図Ⅰ		
教 科 書		製図(原田昭他4名・文部科学省検定済教科書・実教出版)		
参 考 書		JISにもとづく標準製図法(大西 清・理工学社)		
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		根来宗孝		
備 考				